



## リアリティある安全確保を 宮前区青少年指導員連絡協議会会長 岸 真介

町内会・自治会、PTA、子ども会をはじめ関係諸団体の皆様には、青少年指導員会の活動に日頃よりご理解とご協力を頂きありがとうございます。東日本大震災より一年。「今後4年以内に70%の確率で首都直下地震が起こる」との衝撃的な報道がありました。地震予知に関する科学的な議論は控えますが、巨大地震は必ずおこる、その前提で私たちは準備する必要があります。いざという時に役に立つ「**震災対策の鉄則6カ条**」をご紹介します。

2月に「宮前区子ども安全・安心協議会連絡会議」を開催しました。各小学校区より安全安心協議会のとりくみを簡潔に説明いただき、さらに2つの小学校区に事例発表をお願いしました。



碑原小学校では周辺自治会(8カ所)と自主防災組織をつくり、不審者、新型インフルエンザ、近隣火災等への対応を迅速に進め子どもの安全確保がはかられたことが発表されました。

野川小学校・野川中学校では、野川台自治会が中心となり“あいさつ運動”を継続的に実施しています。小学校・中学校の9年間を通してあいさつの日常化をはかるのみではなく、地域全体での子育てや犯罪の抑止を目指していきたいと発表されました。

また、アンケートの中で多くの小学校で「非常食や水の備蓄」や「児童の引取方法の明確化」、地域の方々に「防災倉庫の視察」「避難訓練の様子の参観」など具体的にリアリティーのある積極的な動きが見られました。震災を契機に、学校と地域が一緒になって子どもたちの安全を確保していきたいという意識の高まりがみられ、多少なりとも小学校区子ども安全安心協議会が機能したのではないかと考えております。

**● 震災対策の鉄則6カ条 ●**

- 鉄則① 頭を落下物から守れ**  
(屋内でも屋外でも頭上からの落下物に注意)
- 鉄則② 柱にX字のひびがある建物から逃げよ**  
(X字のひびは柱内部の鉄筋が切れているサイン)
- 鉄則③ 家族との安否確認の方法を決めておけ**
- 鉄則④ 連絡がつかないときは「てんでんばらばら」で安全を確保せよ**  
(連絡がつかない場合は無理に合流しようとするな)
- 鉄則⑤ 水や食料は1週間分備蓄せよ**
- 鉄則⑥ 帰宅困難者を救助活動に有効活用せよ**  
(帰宅困難者に近隣者の役割を担ってもらう)

\*防災・危機ジャーナリストの渡辺実氏より

## 安全・安心な地域社会の実現と子どもたちの健全育成に向けて 宮前区長 和田秀樹

宮前区民の皆さま方には、日ごろより青少年の健全育成に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

宮前区は、古くから続く農村地域としての伝統を大切に守りつつ、郊外住宅地として都市化が進み、川崎市内7区の中でも18歳未満の子どもの数が最も多く、人口に占める比率も高くなっています。近年、インターネットや携帯電話の普及により社会環境は大きく変化しており、青少年に及ぼす影響も大きくなっています。有害サイトなどを通じて子どもたちが被害者や加害者として巻き込まれる事件が発生するなど、深刻な状況を招くこともあります。その中で宮前区では独自の取組みとして「宮前区子ども安全・安心協議会」が組織され、小学校区ごとに地域の方々が連携して登下校時の見守り・パトロール、あいさつ・声かけ運動等が実施されています。

宮前地区青少年指導員の皆さま方におかれましては、PTA並びに関係諸団体の方々々と連携を図り、定期的に地域を巡回するパトロール活動の実施や、「巡回映画会」「青少年作品展」「ディスカバーウォークみやまえ」といった各種事業を実施する

など、献身的な活動を展開していただいていることに深く感謝いたします。青少年の育成を行う上では、保護者や学校による見守りはもちろんのこと、地域全体で守り育てていくことが重要となります。そのためには、地域特性やニーズに見合ったコミュニティづくりをどのように行うかが課題となります。

昨年発生した東日本大震災では、地域コミュニティの重要性が見直されましたが、それから1年が経過した現在、一人ひとりが地域社会、コミュニティの構成員であるという自覚を持つこと、そして地域の様々な立場の方たちが連携を深めることの意義を、改めて認識していただくことが大切だと思います。その中で青少年指導員の皆さま方には、学校やPTAと地域を繋ぐ橋渡しとなっていただけるよう期待しております。

今年は、宮前区誕生30周年にあたります。これから10年、20年と時代を重ねていく中で、次世代を担う青少年が健全に、そして安全で安心して暮らしていくことができる宮前区とするため、宮前地区青少年指導員会の皆さま方のますますの御活躍と御健勝を祈念しまして、御挨拶とさせていただきます。

# 写真でつづる2011年度の主な活動

宮前地区青少年巡回映画会

(7月17日～7月30日)



宮前地区内12箇所の小学校の体育館、校庭、公園にて実施され、子どもたちは、アニメ作品を楽しみました。

第13回 響け！ みやまえ 太鼓ミーティング

(8月22日)



子どもも大人もリズムカルで迫力のある太鼓に酔いしれました。その力強い太鼓の余韻が、いつまでも私たちの心に響いています。

第30回 宮前区民祭

(10月16日)



今回、宮前区誕生30周年を迎え、20万以上の人が訪れ、パレード、舞台での吹奏楽演奏、歌、ダンスなどを楽しみました。

巡回パトロール

(毎週、4地区交代にて実施)

「地域の青少年は地域で守る」の視点から子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう巡回パトロールを実施しています。



これであなたも芸術家！(絵画教室)

(9月4日)



94名が参加しました。その子どもたちの絵を描く熱い視線を感じます。その熱心な姿に感動します。

第26回 宮前地区青少年作品展

(11月20日～11月21日)



今回も素晴らしい作品がたくさん展示され、どの作品も力作ばかりです。たくさんの感動する作品に出会えました。

ディスカバーウォークみやまえ

(平成24年2月26日)



JR梶ヶ谷貨物駅(コンテナ内)

宮前地区青少年指導員宿泊視察研修会

(3月9日～3月10日)



長野市松代町内の松代象山地下壕前にて

## 第26回 宮前地区 青少年作品展

平成23年11月20日(日)～21日(月)まで作品展とその表彰式(20日)が開催されました。たくさんすばらしい作品を集め宮前区役所4階にて、盛大に行われました。審査員として川崎市立古川小学校の中村きく子先生(書道の部)・川崎市立長沢小学校の澁谷加寿子先生(絵画の部)にお願いしました。

### 【書道の部】

【区長賞】		
小5	塚本 有貴	有馬
【東京新聞賞】		
小1	たけだ ゆうか	土橋
【青少年指導員会会長賞】		
小4	長島 桃香	野川
【書道入選者】		
学年	氏名	こども会
小1	あかね ふみ	宮崎
小2	いしい ゆうや	野川
小3	いない あやか	
小3	加藤 陽二	宮崎
小4	小澤 美稀	有馬
小4	河野 理央	野川
小4	古賀 有夏	花の台
小4	豊澤 碧海	野川
小5	粟田 雄貴	土橋
小5	洲崎 有沙	有馬
小5	高橋 きらり	花の台
小5	原田 康太	有馬
小5	藤澤 明日香	有馬
小6	坂上 仁美	花の台
【書道佳作】		
小2	ますこ かなみ	
小3	北田 千智	小台
小3	高松 瑞希	
小3	田部井 春香	
小6	藤本 桜子	土橋

### 【絵画の部】

【区長賞】		
小6	齋藤 光弥喜	花の台
【東京新聞賞】		
小4	田島 樹春	花の台
【青少年指導員会会長賞】		
小3	石渡 萌々菜	土橋
【絵画入選者】		
学年	氏名	こども会
小1	まつい さやか	
小2	池滝 麻紗	馬絹
小2	うきおか あゆみ	
小2	北川 海斗	花の台
小2	すずき はるか	
小2	常世田 佳澄	野川
小2	松本 さわ子	土橋
小2	渡辺 真理	宮崎
小3	来田 こずえ	土橋
小3	工藤 愛理	花の台
小3	鈴木 万葉	小台
小3	堀口 はるか	野川台
小4	及川 力日	馬絹
小4	田島 樹春	花の台
小4	仲村 雄樹	
小4	原田 夏実	花の台
小5	鈴木 花歩	宮崎
小6	及川 晴日	馬絹
小6	福鳥 蒼平	花の台
小6	松尾 圭蔵	馬絹

### 【絵画佳作】

小1	いとう ななみ	土橋
小1	かのうだ ななみ	
小2	太田 康介	
小2	ひらの なな子	
小3	木内 千鶴	馬絹
小4	高野 朱里	
小4	龍村 周	
小5	武藤 姫子	有馬

### 【ちぎり絵入選】

学年	氏名	こども会
小1	目代 雄介	花の台
小5	二宮 朱里	宮崎



## 第26回宮前地区青少年作品展『書道の部』講評

審査員 川崎市立古川小学校 中村きく子

作品展の開催おめでとうございます。138点の作品を目にしながら、今にも墨の香りが漂ってくるような感じを受け、うれしい気持ちで鑑賞しました。展示会場の小学1年生から中学3年生までの作品は、それぞれの学年の持ち味が生かされ、成長ぶりが手に取るように伝わってきました。どの作品も真剣に課題に向き合い、力作が多かったです。

低学年の皆さんは、持ち慣れない筆を使って書くので大変だったことでしょう。それにもかかわらず、一画一画とていねいに書いていたので感心しました。課題の「わんぱく」は曲りや折れ、結びなどに気をつけて、文字通り、書き初め用紙に元気があふれていました。課題「うた」も、筆遣いに気をつけ、すっきりしています。全体的に低学年とは思えない作品が多かったです。

中学年の皆さん、たくさんの応募ありがとうございました。課題の「花ざかり」は、大きくのびのびとした作品が多かったです。ひらがなは形がとりにくいのですが、ていねいに書き漢字とのバランスにも気を配っていました。ゆったりとした作品を鑑賞しながら穏やかな気持ちになりました。課題の「実りの秋」も、文字の大きさや配列に気をつけながら書いていました。

高学年の皆さんの作品は、積み重ねてきた力が発揮されて見応えがありました。課題の「無限の力」は字形や配列が難しいのですが、勢いがあり堂々としています。「限」の傍の部分や「力」の払いなど、細かいところまで気持ちを働かせていました。課題の「希望の春」も「春」の横画や左右の払いに気をつけて整った文字を書いています。

中学生の皆さんも「花鳥風月」の行書に挑戦してくださり、ありがとうございます。今まで培ってきたものが発揮されました。書に取り組む人たちの励みになることと思います。

「文字は人なり」という言葉がありますが、作品の一枚一枚にその子らしい持ち味のある書に出会えることができました。

応募してくれた皆さんに感謝すると共に、これからの一層の活躍を期待します。

## 第26回宮前地区青少年作品展『絵画の部』講評

審査員 川崎市立長沢小学校 澁谷加寿子

木々が色づき、町並みがキャンパスのように美しく彩られる秋の深まりの季節がやってきました。毎年同じ景色を見ているのですが、今年は、特別な思いをもってこの景色を眺めています。3月11日、多くの人の命が失われた東日本大震災が発生しました。映像を通して見た東北の景色は、そこに住む人々の心の痛みのように色させて見えました。普段そこに存在するのが当たり前のように思っていることが、実はどれだけ大切なものであるかということ、そして人々の「つながる力」がとても大事であるということをもう何年も前に訪れた仙台の美しい紅葉の景色の思い出と共に、強く感じています。

さて、今年もまた、宮前区の皆さんが思い思いに描いた作品に出会う機会が得られ、大変うれしく思います。今年の作品は、ちぎり絵の部門で、技巧的に優れていると感じるものが多く見られました。

絵画の部門では、自由に楽しんで描いた作品が多く見られましたが、「心の動き」の強調がやや弱いように感じました。思わずふいつつと笑ってしまったり、「なるほど。」と感心してしまったり、心を惹かれる作品には、感じた思いを絵というメッセージに託して伝える力の強さがあると改めて思いました。絵を描く＝伝える力＝つながる力だと私は思います。

私の勤務先の麻生区でもスーパーマーケット主催の児童展覧会が開かれたり、商店街のクリスマス装飾を、地域の小学生から大学生までが行ったりという町ぐるみの造形表現の企画が行われています。色や形で表すことがたくさんの人々を元気づけ、つながりを生むのです。素敵だと思いませんか。

今、あなたは、何を美しいと感じ、何を楽しいと感じていますか。感じたままに自分の思いを色や形にして伝えていくことそのものがとても大切なことです。宮前区の皆さん、「今、私はこんなことを感じています!」と自分の心を開放し、絵を描いて伝えてください。その積み重ねが、たくさんの人と「つながる力」を育みます。そして、心の目で見ないとわからない大切なものがたくさんあることに気づくことができる豊かな完成を育みます。来年もたくさん感動の作品に出会えることを楽しみにしています。(後略)

# 平成23年度において下記の青少年指導員が表彰されました。

## 青少年育成 表彰者紹介

- ★神奈川県青少年指導員表彰 土田雅美智(宮前平地区)
- ★神奈川県青少年育成活動推進者表彰 平井賞子(宮前平地区)
- ★川崎市青少年健全育成功労者表彰 大浪伸一(野川地区)・持田裕次(有馬地区)・山下京子(宮前平地区)



**おめでとうございます。益々のご活躍をお祈りします。**

(左から土田さん、平井さん、大浪さん、持田さん、山下さん)

## ●●● 第9回ディスカバーウォークみやまえ ●●●

平成24年2月26日(日)、野川第3.4公園にて実施されました。野川地区が野川子ども文化センター、有馬地区が有馬つつじ公園、宮前平地区が宮崎第4公園、宮崎地区が宮崎子ども文化センターに集合して、自然散策をしながら、私たちの町の名所旧跡、例えば、馬絹古墳、影向寺、JR梶ヶ谷貨物駅などを訪ね、見学をして、会場となる野川第4公園まで歩きました。

公園内にて全体ゲームとして ネイチャーゲーム、じゃんけん列車をした後、パークバレー、ロープ遊び、大なわとびなどをして楽しみました。学校や学習塾で勉強することも大切なことですが、時には、戸外の公園でたくさんのお友達と一緒に思いっきり遊ぶことや自然に触れることも大切なことだと思います。



## 平成23年度 宮前地区青少年指導員会の主な事業報告

期 日	事 業 名	期 日	事 業 名
4/19	平成23年度総会	11/20	第44回神奈川県青少年指導員大会
5/9	宮前地区青少年指導員会全体会	11/27	川崎市青少年指導員研修会
7/17 ~30	宮前地区青少年巡回映画会 実施・運営 宮前地区内12会場	12/5 ~16	第26回宮前地区青少年作品展入選作品展示会 宮前区役所2階 ロビー・区民ギャラリー
8/22	第13回 響け!みやまえ太鼓ミーティング協力	2/2	川崎市青少年健全育成功労者表彰式
9/4	これであなとも芸術家!青少年絵画教室	2/5	神奈川県青少年育成活動推進者表彰式
9/17	宮前区地域巡回パトロール活動情報交換会	2/15	宮前地区青少年指導員会全体会
10/4	宮前地区青少年指導員会全体会	2/26	ディスカバーウォークみやまえ 実施・運営
10/16	第30回宮前区民祭 運営協力	3/10 ~11	宮前地区青少年指導員宿泊視察研修会
10/22	区老連スポーツ大会 運営協力		
11/18	第26回宮前地区青少年作品展前々日準備	3/18	川崎市青少年フェスティバル
11/19	第26回宮前地区青少年作品展前日準備	3/31	広報誌「あすか」第14号発行
11/20 ~21	第26回宮前地区青少年作品展 入選作品表彰式(20日) 宮前区役所4階	毎週 随時	地域巡回パトロール 4地区交代で実施 役員会、実行委員会等は随時実施

※その他、地域・町内会・自治会他、県・市・関係諸団体の行事、会議、研修会、シンポジウム等に協力参加します。

## 編集 後記

昨年、3月11日に東日本大震災が発生しました。そのような状況中、通常通り、いろいろな行事を実施することができたことに心から感謝しつつ、多くの被災地の1日も早い復興を願いながら、私たちの出来る支援をしていきたいと思っています。(T)